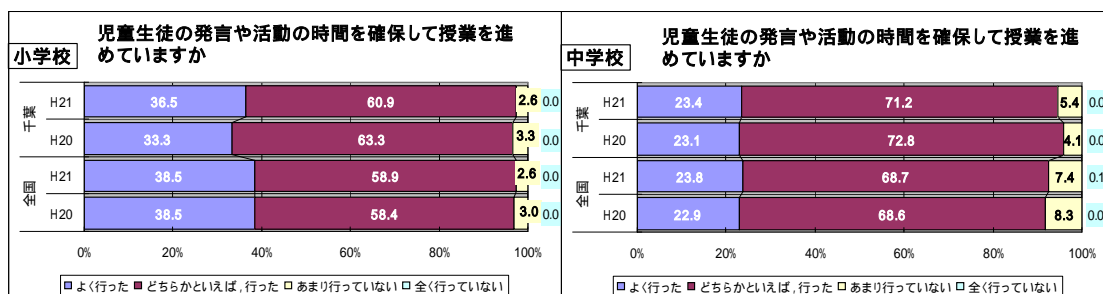


学校質問紙に関すること

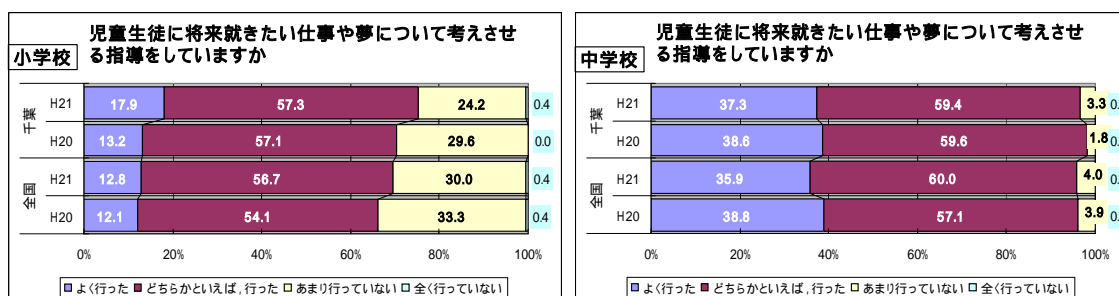
<授業での工夫>

小学校では、将来について考えさせる活動をしている学校の割合が高い。
インターネットなどを使った調べ学習をしている学校の割合が高い。
調べたこと・考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導を行った学校ほど平均正答率が高い傾向がある。
朝の読書など一斉読書の時間を設け、毎日行っている学校の割合が高い。

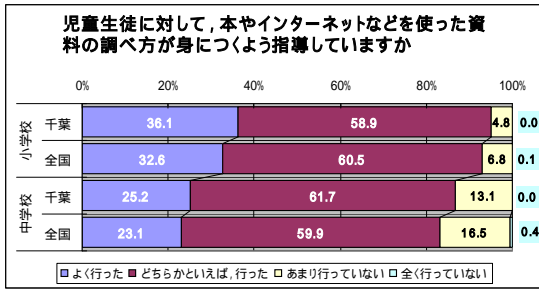
「児童生徒の様々な考えを引き出したり，思考を深めるような発問や指導をしていますか」の設問について，肯定的に回答する割合が徐々に増加している。



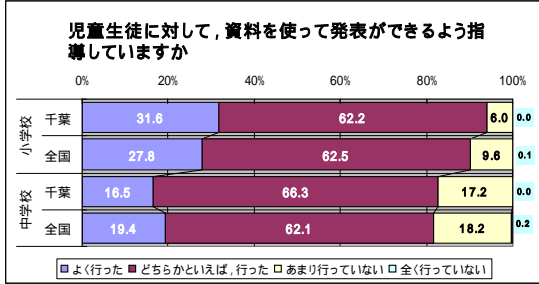
「児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか」の設問に，肯定的に回答する割合が90%を越えている。小学校では，「よく行った」との回答が増加している。



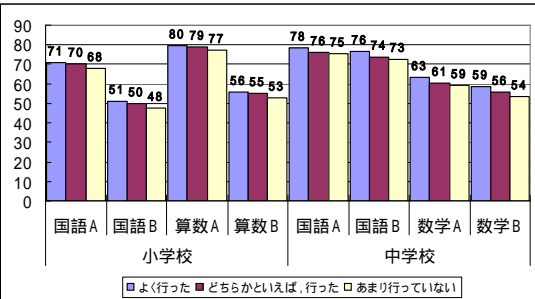
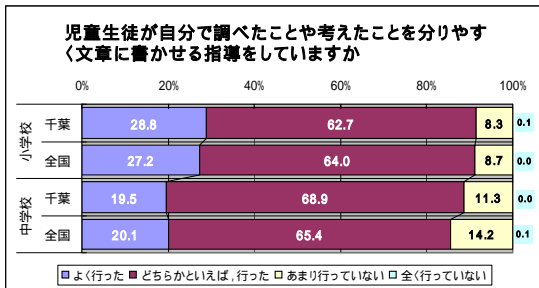
「将来就きたい仕事や夢について考えさせる活動をしていますか」との設問について，小学校で「よく行った」と回答する割合が全国平均よりも高い。



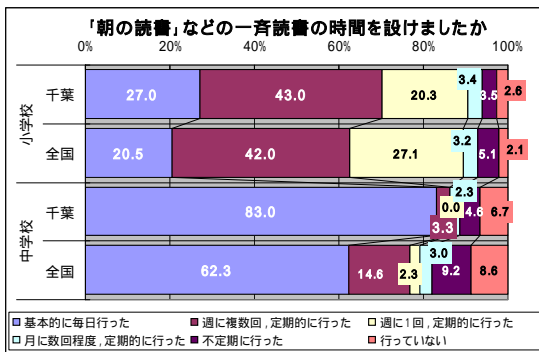
「インターネットなどを使った資料の調べ方が身につくように指導していますか」の設問に、肯定的に回答する割合は、全国に比較して高い。



また、「資料を使って発表ができるよう指導していますか」の設問について、肯定的に回答する割合は、小学校では、全国よりも高い。



「児童生徒が自分で調べたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか」の設問について、肯定的に回答する割合が全国よりも高い。また、よく指導を行うほど平均正答率の高い傾向がある。

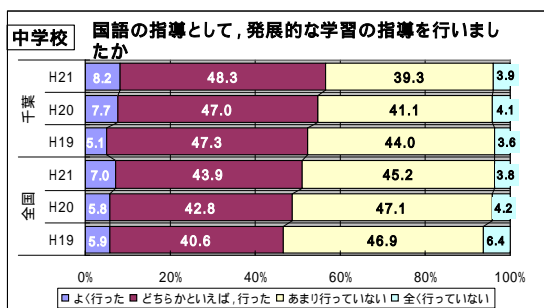
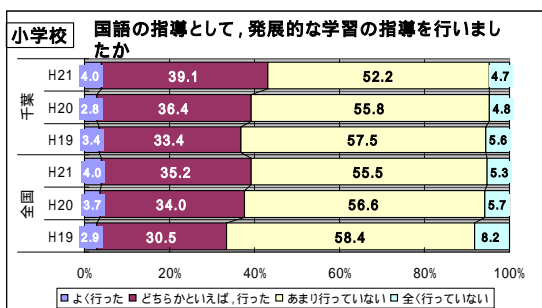


「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けたかどうかの設問について、「毎日行っている」学校の割合が、全国と比べ小中学校ともに高く、特に中学校では千葉県が83.0%、全国が62.3%であり、千葉県の実施率が高い。

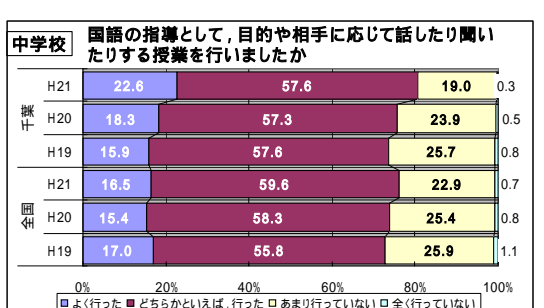
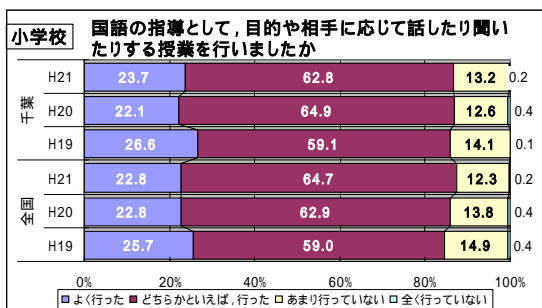
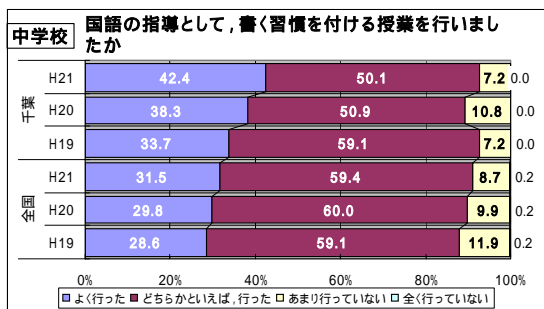
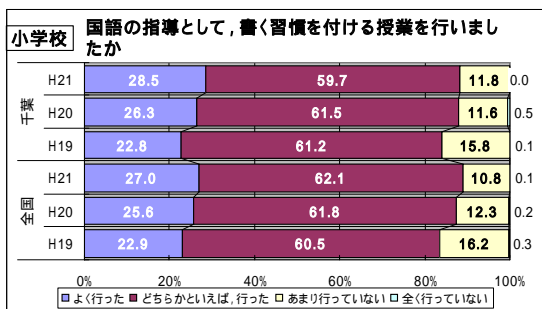
< 教科の指導 >

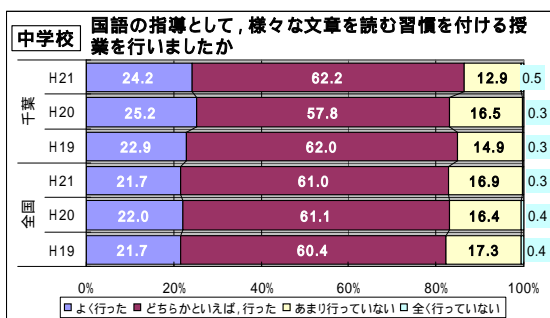
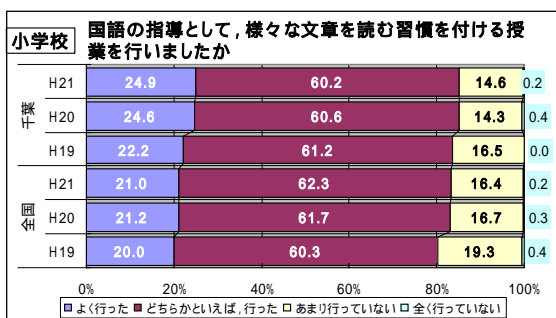
国語の指導では、発展的な学習指導をする学校の割合が増加する傾向がある。
 小学校国語では、様々な文章を読む指導をよく行う学校の割合が増加する傾向がある。
 中学校国語では、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行う傾向が増加する傾向がある。
 算数・数学の指導では、発展的な学習指導・補充的な指導を「よく行った」と回答した学校の割合が減少する傾向がある。

国語について

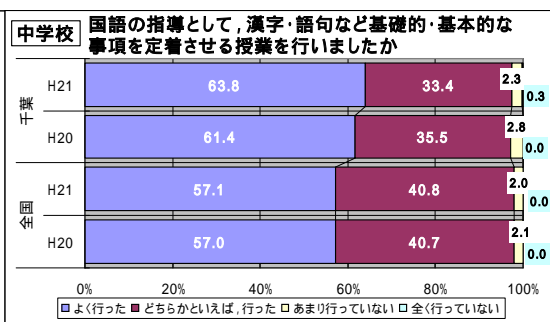
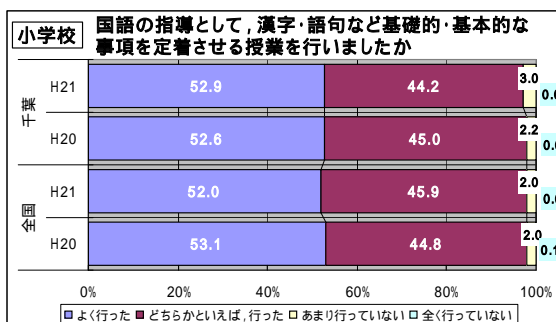


経年変化を見ると、「国語の指導について、発展的な学習の指導を行いましたか」との設問に、肯定的に回答する割合が増加する傾向がある。



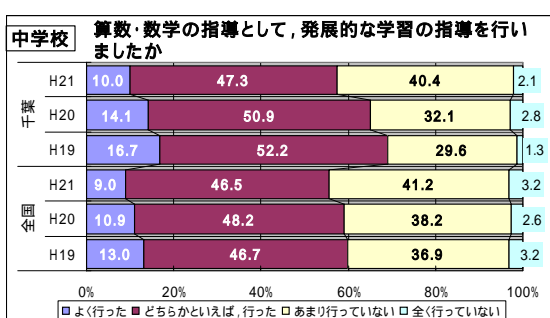
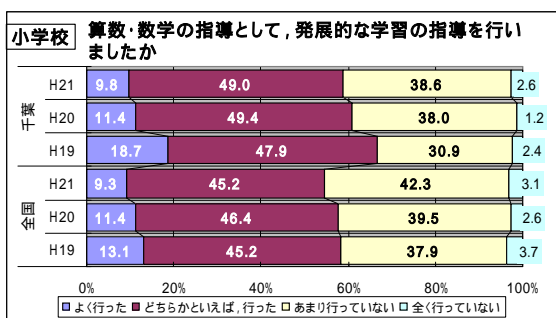


経年変化から「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか」「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか」「国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか」の設問について、肯定的に回答する割合が高くなる傾向がある。

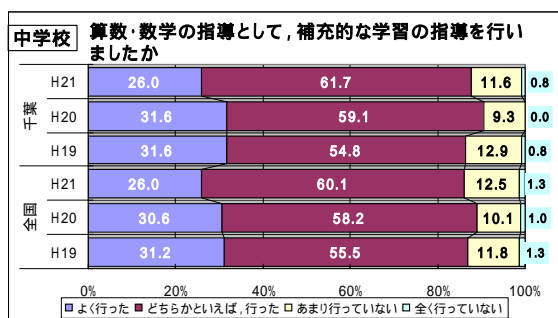
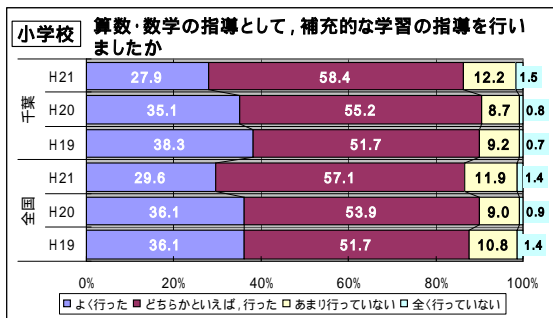


中学校において、「漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか」の設問に、「よく行った」と回答する割合が高くなる傾向がある。

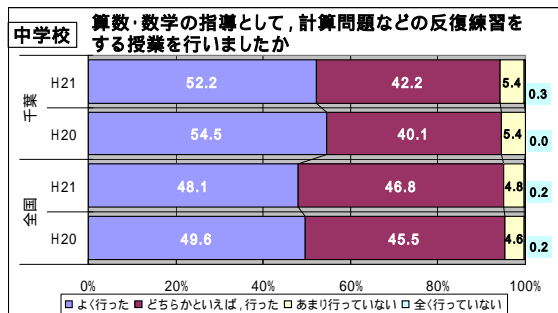
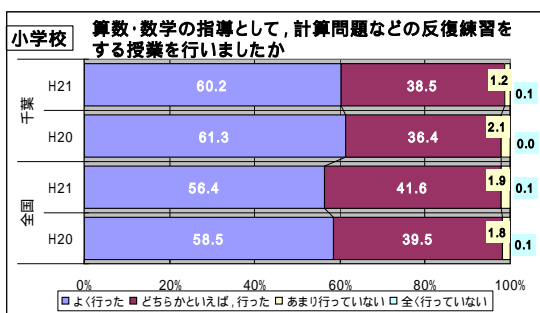
算数・数学について



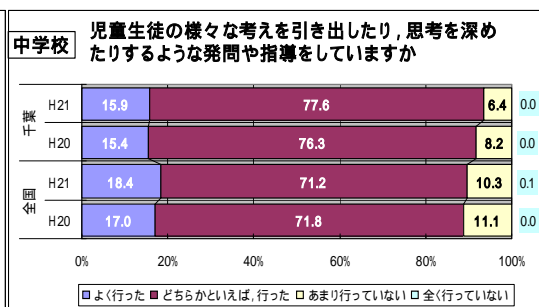
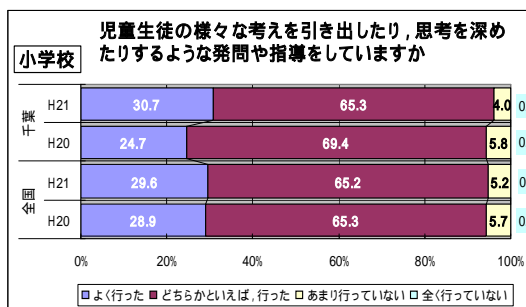
「発展的な学習の指導を行いましたか」の設問について、「よく行った」と回答する割合が低くなる傾向がある。



「補充的な学習の指導を行いましたか」の設問について、「よく行った」と回答する割合が低くなる傾向がある。



「計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか」の設問について「よく行った」と回答する割合が全国より高い傾向がある。

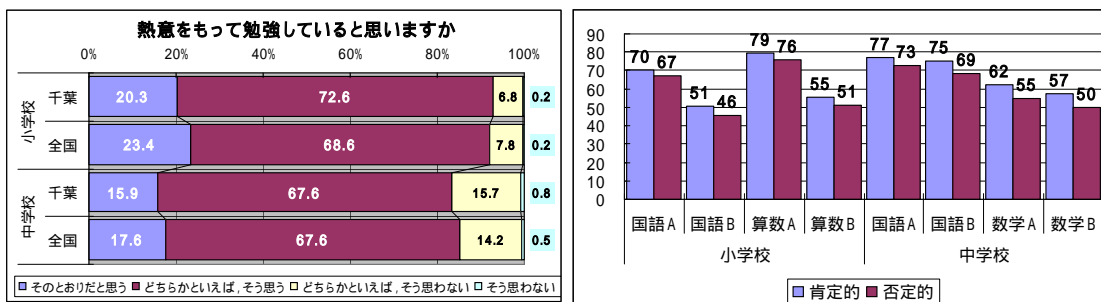


「様々な考え方を引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしているか」の設問について「よく行った」「どちらかといえば、行った」との合計の割合は、増加する傾向がある。

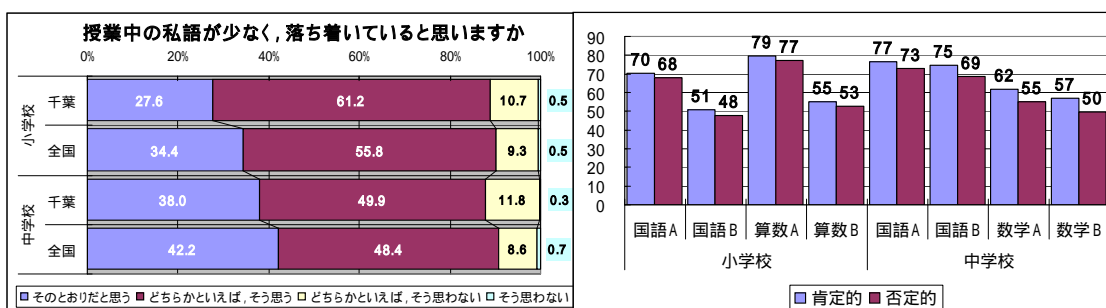
< 授業態度等 >

学習規律・礼儀等が身に付いていると肯定的に回答する学校ほど平均正答率が高い傾向がある。

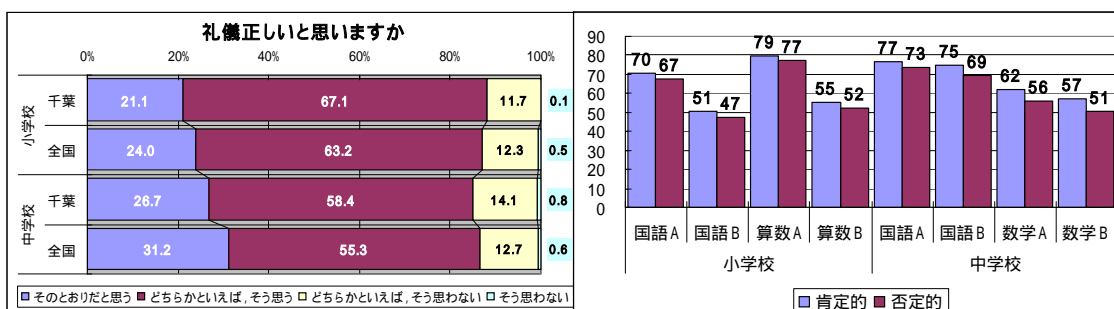
小中学校とも，P T A や地域の人が学校の諸活動に参加する割合が，全国よりも高く，また経年変化も増加する傾向がある。



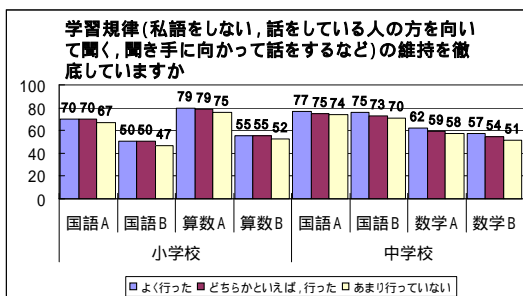
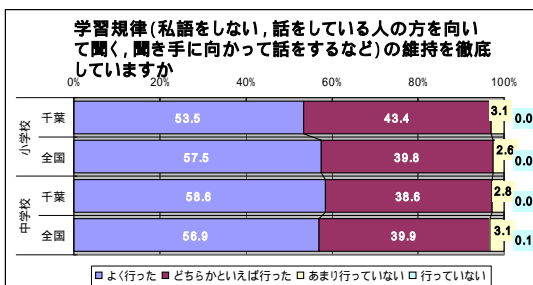
80%から90%の学校で，熱意を持って勉強していると回答しており，これらの学校の平均正答率が高い傾向がある。



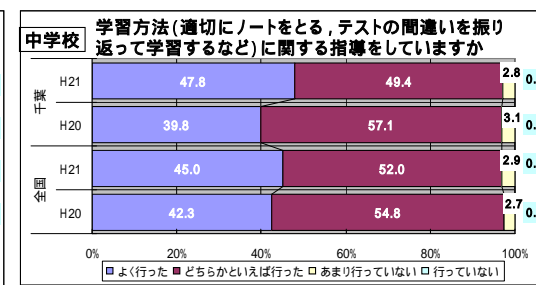
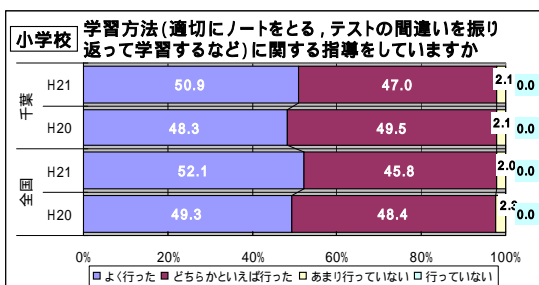
全国と比較して，「授業中の私語が少なく，落ち着いているか」との設問に「そのとおりだと思う」と「どちらかといえば，そう思う」と回答した学校の割合の合計は，全国と同程度であり，このように回答する学校ほど平均正答率が高い傾向がある。



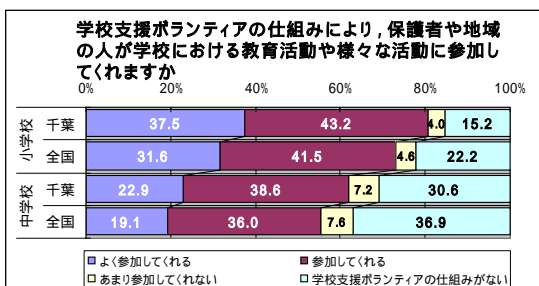
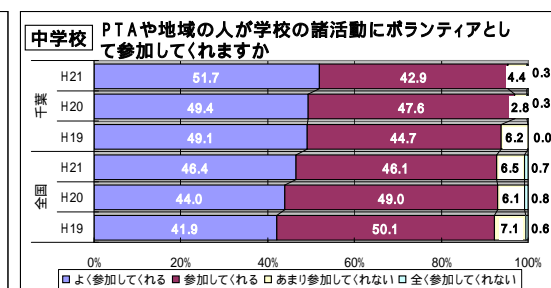
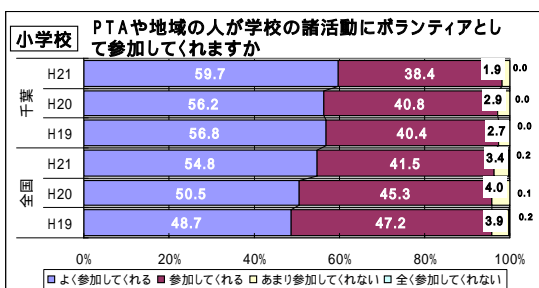
「礼儀正しいと思いますか」のとの設問に，「そのとおりだと思う」と「どちらかといえば，そう思う」と回答した学校の割合の合計は，小中学校ともに全国平均とほぼ同じ割合であり，このように回答する学校ほど平均正答率が高い傾向がある。



「学習規律(私語をしない, 話をしている人の方向を向いて聞く, 聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底していますか」の設問について、「そのとおりだと思う」と「どちらかといえば, そう思う」と回答する学校ほど平均正答率が高い傾向がある。



「学習方法(適切にノートをとる, テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか」との設問について、「よく行った」と回答する学校の割合が高くなってきている。

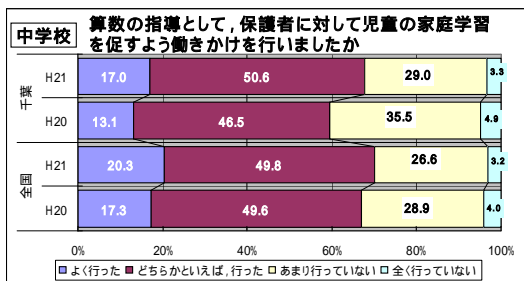
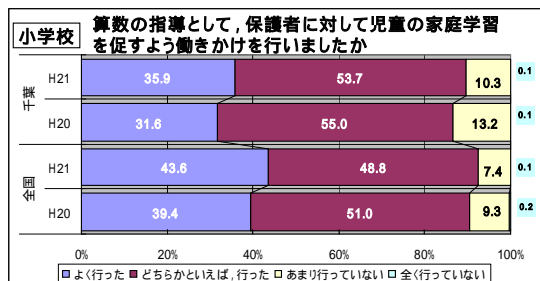
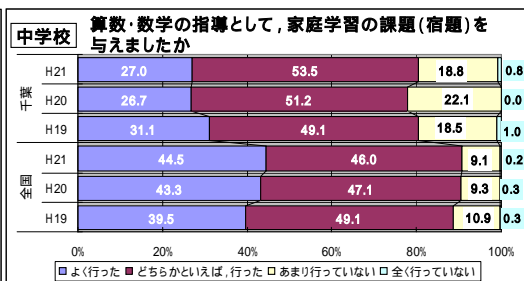
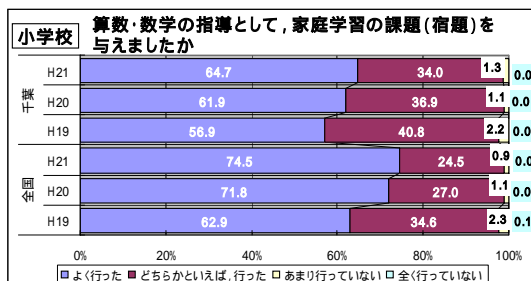
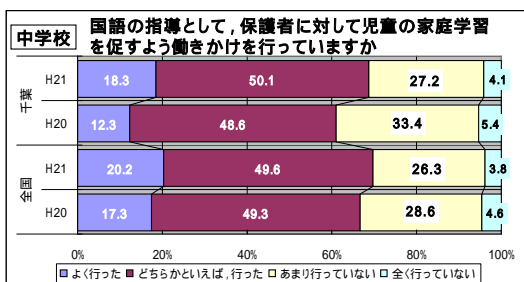
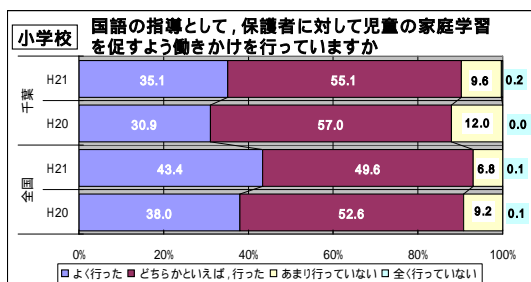
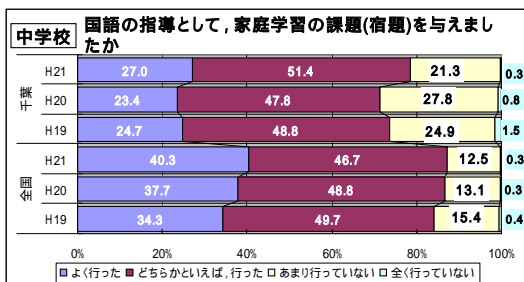
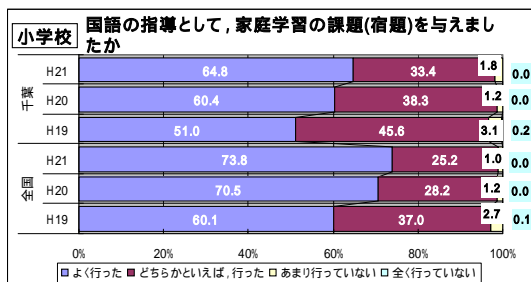


全国と比較し, P T Aや地域の方が学校の諸活動に参加する割合が高い。

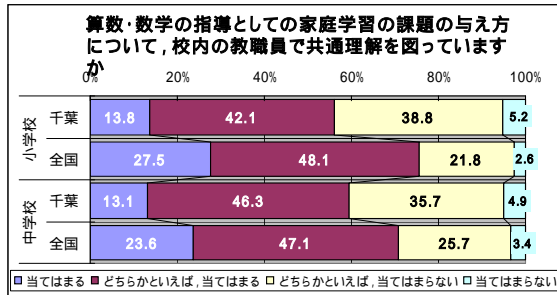
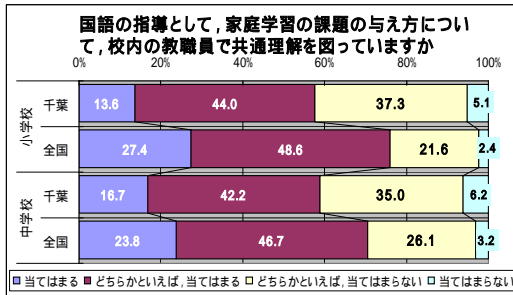
< 家庭学習 >

小中学校とも、家庭学習を促す傾向は、全国平均よりも低いが、経年変化からは増加する傾向がある。

小中学校とも、家庭学習の課題の与え方について全国に比べ校内の教職員で共通理解をする割合が低い傾向がある。



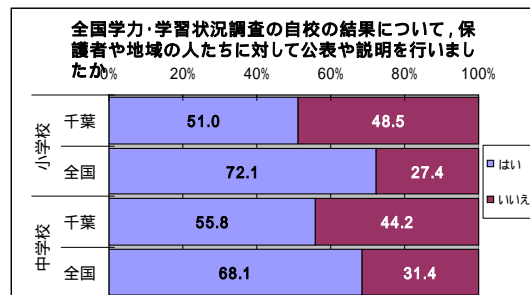
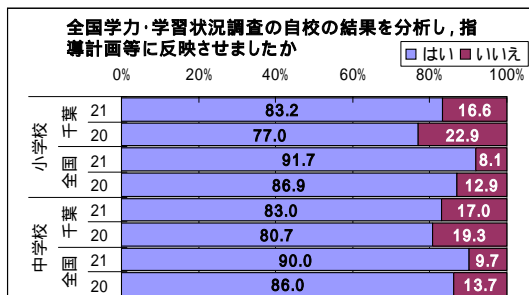
家庭学習への取組む学校の割合は、全国平均より低いが、昨年度に比較し高くなってきている。



「教科として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか」の設問で、肯定的に回答する割合は、小中学校ともに全国平均より低い傾向がある。

< 全国学力・学習状況調査の活用 >

全国学力・学習状況調査の活用については、全国平均より低いが、経年変化からは増加する傾向がみられる。



「全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか」「全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか」「全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか」「当該年度全国学力・学習状況調査の調査問題を当該年度において、対象学年や他学年の授業の中で活用しましたか」「学校の指導計画や取組を検討するにあたり、全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか」「全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか」の設問について、「はい」と回答する割合は、全国平均より低いが、経年変化を見ると、「はい」と回答する割合が高くなっている。